



第6回セーフコミュニティ対策委員会

平成28年12月14日（水）に6回目の対策委員会を行いました。

今回のテーマは「重点課題」。これまで積み上げた、主観的課題、客観的（データ等）な課題を踏まえて、各対策委員会で取り組む重点課題について話し合いが行われました。

セーフコミュニティの取組みで重要なのは、根拠（エビデンス）です。「なぜ、これを重点課題にしたのか？」を根拠に基づいて説明できるかがポイントになります。各対策委員会で3つくらいの課題を設定する予定です。

又うといっしょにPR活動



平成28年12月3日（土）に、今年2回目のPR活動を行いました。さいたま新都心コクーンシティ「又うひろば」来場者へSC啓発品を配布しました。

昨年度行った市民アンケート結果によると80%以上がセーフコミュニティを知らないと回答しております。

これからも、PR活動を続けセーフコミュニティの認知度UPを目指します！

一般社団法人日本セーフコミュニティ推進機構
白石 陽子 代表理事の紹介！！

博士（政策科学）

- 一般社団法人日本セーフコミュニティ推進機構代表理事（セーフコミュニティ支援センター）（インターナショナルセーフスクール認証センター）
- セーフコミュニティ公認認証審査員
- 立命館大学衣笠総合研究機構 研究員
- 韓国亜州（アジョー）大学 医学部 客員教授
- 京都産業大学法学部 非常勤講師



一般社団法人日本セーフコミュニティ推進機構(JISC)は、国際セーフコミュニティ認証センターから支援センターとして認証されている日本で唯一のセーフコミュニティ支援センターです。

さいたま市もJISCに支援をしていただきながら、セーフコミュニティに取り組んでおります。

JISCの代表理事であります『白石 陽子さん』に以下のことを聞いてみました！！

Q1 セーフコミュニティに携わったきっかけは？

A1 まちづくりに関わる研究をしていた際、市民も行政も「よいまち」になるために取り組んでいるのに両者のギャップを感じていたところSC活動を知りました。「成果」が既にスウェーデンなどで、出っていたので、日本でも取組めるのではないかと思ったのがきっかけです。

Q2 セーフコミュニティの魅力

- A2 ①地域が一つになって取り組む「仕組み」と「体制」であること
- ②取組み成果を確認できること
- ③楽しんで取組めること
- ④他の自治体、他の国に仲間ができること

趣味は、インテリア、料理、ネコと遊ぶこと！

好きな食べ物は、アイスクリームとチョコレート！！

訪問した国は20カ国。日本語、英語、あと関西弁が話せます！（現在、青森、鹿児島の方言に挑戦中！）



Q3 さいたま市に一言

A3 日本でセーフコミュニティに取り組んでいる、まちの中で一番人口が大きなまちです。大きいならではのチャレンジは多いと思いますが、逆にメリットもたくさんあります。「さいたま市」らしい安全なまちづくりを「みんなが一つになって」進めてください。

緑区にある浦和学院高等学校が、平成28年12月8日にセーフコミュニティの学校版、『インターナショナルセーフスクール』の認証を取得しました！！

